

平成 19 年 3 月 29 日

各位

石油資源開発株式会社

ガスパイプラインに関する共同研究について

石油資源開発株式会社と大阪大学大学院工学研究科は、この度、ガスパイプラインの建設に関する統合的な学問分野の構築を図るため、「石油資源開発(パイプライン工学)共同研究講座」を設置することといたしました。

近年、地球温暖化防止を図るための有力な手段として天然ガスの有効利用が求められており、天然ガスの有効利用を促すものとして、広域天然ガスパイプライン網の更なる整備が必要となっています。

当社は、半世紀にわたり日本の石油開発のリーディングカンパニーとして、国内外において石油・天然ガスの探査・開発に努めるとともに、天然ガスの輸送においても延長約 826 キロメートルにおよぶガスパイプライン網を整備してきました。また 2011 年初頭の完成を目指した仙台～いわき間海底ガスパイプライン建設計画においては、高張力鋼を適用した効率的な輸送を目指している中で、パイプラインの計画・材料・敷設など統合的に取り扱う学問領域の重要性が増して来ております。

このような状況下で、わが国初で唯一の専門講座となる本共同研究講座を設置することにより、大阪大学大学院工学研究科が保有する鉄鋼材料学、溶接工学、破壊力学、構造工学などの研究成果を融合させることで、ガスパイプラインの統合的な学問分野の構築や、実践的な研究分野における研究拠点の創成が図られ、当社が進める計画の実現に大きな役割を果たすことが期待されます。また本共同研究講座を通じて海外を含む学術交流・人的交流を深めることでわが国における長距離天然ガスパイプラインの発展整備にも大きく資することが期待されます。

【共同研究講座の概要】

1. 講座名称： 石油資源開発(パイプライン工学)共同研究講座
2. 設置場所： 大阪大学大学院工学研究科
3. 設置期間： 平成 19 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日
4. 研究内容： ①長距離海底パイプラインの技術的課題抽出とその解決
②技術基準合目的化
③パイプライン性能向上のための材料・施工・性能の統合的手法
④長距離・超高压パイプラインの高度化

以上